

SORA

web magazine 2013.sep. vol.22

Bohol Philippine

フィリピン ボホール

MAP
CLICK!

バリカサグ島 カメカメ日記

フィリピン屈指のダイビングポイント
「バリカサグ島」で出会ったたくさんのカメたち。
カメの楽園で癒しのダイビングを……。

Photo & Text : Kyu Furumi

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2012
World Tour Planners Co.,Ltd.
All Rights Reserved.



S 驚き
Suprise

Bohol
Philippine
フィリピン ボホール



S 驚き Suprise



Bohol Philippine

フィリピン ボホール

ノバビーチリゾートのオーナーである河村さんからの提案だった。「最近バリカサグはバラクーダも以前程見かけなくなってしまったんですよ。その代わりに言うてはなんだけど最近やたらとカメを見かけるんですよ」と話してくれた。カメがいっぱいと言われてもなんだかピンと来ないのが正直なところだが、実際に潜ってみてそんな思いは遥か彼方までぶっとなってしまった。

エントリー直後から僕の目の前をカメたちが何度も何度も行ったり来たり。アオ、アオ、アオ、アオ、タイマイ、アオ、タイマイ…。といった具合に絶え間なく現れる。追いかけてっこをしたり、ぼーっとしていたり。時には寝ていたり、突然怒りだしたりと、カメたちの生活ぶりもじっくり観察しているとじつに面白い。河村さんのひと言のお陰で、僕とカメとの付き合いは一気に深まった気がした。バリカサグはカメたちの楽園とも言える場所だ。

O 海 cean

もちろんボホールはバリカサグ意外のポイントも魚影が濃い。個人的に特にお気に入りなのがノバリゾートのハウスリーフ。基本的に朝食前に潜ることが多く、リゾートの目の前からイカダに乗りどんぶらことエントリー。この感じがタマラナイ。海底環境も浅瀬のサンゴからショートドロップオフ、ガレ場へと変わっていくので、環境面もかなり充実していて生物のバリエーションも豊富だ。ハウスリーフはじっくりと潜り込みたいポイントのひとつだろう。

それからいつも気になるのだが、ボホールの海にはなんだかちょっと変わった模様をした魚が多いような気がする。代表的なところではお公家さんのような顔をした、ハナビラクマノミやコメカミに梅干しをくっつけたようなセジロクマノミなどなど、個性的な面々が目に入る。これはたまたま目に付く偶然なのか？ その辺の真相は分からないけど、とにかくそういったちょっとオカシな模様の魚を探してみるのも、また楽しいものである。



Bohol Philippine

フィリピン ボホール

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく



ノバの夜は気持ちがいい。波の音、海からの風、ヤシの葉の音。全てが程よく心地いい。満点の星空の下
「ノバとはこちらの言葉で新しい星という意味なんです」と教えられた。翌朝早朝のダイビングを終えて、波打
ち際を歩きリゾートに帰る僕の足元にも新しい星が輝いていた。

R^{ロマン} Romance



Bohol
Philippine
フィリピン ボホール

A 行動 Action

リゾートのコンセプトは「食う・寝る・潜る」。ダイビングからのんびりとしたリゾートライフまですべてこのノバで完結できる。煩わしい移動などもいっさいなし。リゾート目の前から海に出て、帰ってきたら真水のプールで寛いで食べて寝る。ダイバーにとってはこの上ない環境がここにはある。オーナーの河村さんをはじめ、ガイドのけいこさんのセカセカとしない、ゆったりしたペースも心地よい。フィリピンでありながら、どこか田舎に帰ってきたような感覚を覚えるアットホームな空間だ。

Bohol Philippine

フィリピン ボホール

